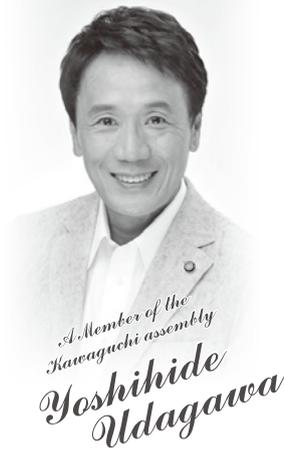


討議資料

# 宇田川よしひで

## 市議会ニュース

vol.95  
2022年3月



「沢山の人の沢山の幸せを見たいから  
今までもそしてこれからも頑張ります」

令和4年 第1回

### 3月市議会定例会

## 施政方針

令和4年2月21日～

3月24日までの32日間

中核市への移行により、市保健所を設置し、現在の新型コロナウイルス感染症対策においても、市が主体となって医療提供体制の確立や積極的なPCR検査、本市独自の「川口モデル」によるワクチン接種の推進など、迅速で効果的な感染症対策を展開することができました。

また、財政基盤の健全化を図るため市税収納率の向上に取り組み、この7年間で合計406億円の市税収入を増額させたほか、3大プロジェクトをはじめ、市内経済好循環の創出や、子育て・教育環境の充実のほか、防災・防犯対策、さらには再開発事業・都市基盤整備など地域の特性に合った

まちづくりの推進など市政を大きく前進させることができました。

今後は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題として取り組むとともに、環境との共生を図るため、自然環境の保護・育成やゴミ対策、その他、文化・芸術に対する市民意識の高揚にも力を注ぎ、中核市として成熟した社会の実現を目指したまちづくり、さらには働きやすいまちづくりなどに取り組みます。また、中距離電車の川口駅停車など残された課題についてもしっかりと取り組みます。

令和4年度の一般会計予算案については、「歳入の確保があつてこそその歳出」であることを念頭に、過去最高である965億円の市税収入を見込むほか、これまで以上に国費や県費も活用しながら、歳入

の確保を図ったところですが、また、歳出についても、感染症対策や、様々なまちづくり施策のさらなる推進を図り、市民ニーズにしっかりと応えることを目指した結果、一般会計は過去最大となる2198億円、特別会計、企業会計を合わせた予算総額としても、過去最大の4256億円となりました。

### 新型コロナウイルス 感染症対策について

感染症との闘いも2年を経過し、この間、本市においては、2月20日までに、2万5千137人の方が陽性となり、116人の方がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表しますとともに、治療中の方々に心からお見舞いを申し上げます。

そして感染症対応の最前線におられる医療従事者をはじめエッセンシャルワーカーの皆さんに深く感謝します。

本市の感染状況は、今年に入り、今までに経験したことがないスピードで爆発的な感染拡大となり、2月6日には過去最大となる1日に748人の新規感染者を記録し、1月からの第6波だけで約1万5千人を超える新規感染数を記録し、現在も1日概ね300人から500人の高い水準で増減を繰り返す状態が続き、病床使用率も70%を超えています。

このような状況下で、市保健所の職員体制を新規感染者数に応じて他部局からの応援職員も含め増員し、さらに派遣職員、委託職員を加え、平常時は50人体制のところ総勢160

人まで職員を増員し、保健所機能の強化を図りながら、市民の大切な命と健康を守るため、迅速かつ的確な対策を講じているところです。併せて、新型コロナウイルスワクチンを2回接種完了日から6カ月経過した方へ、2カ月前倒して3回目を接種できる体制を確保し、2月までに接種率50%を目指し強力に推し進めているところです。

### 救急体制の強化について

現在、14台の救急車に71名の救急救命士を配置し、現場から医療機関へ搬送されるまでの救急活動である「病院前救護」を効果的に実施し、迅速に

救急要請に对应しているところです。また、救急救命士2名乗車を可能とするための救急救命士の養成や、多様な住民ニーズに対応するため女性救急隊員の乗車率の向上に努めるなど、市民の安全・安心のためより質の高い救急サービスを提供に努めているところで、しかし、救急救命士には、技術の維持・向上のために、2年ごとに48時間以上の病院実習が義務づけられていることから、病院実習時に不在となることが課題となっており、また、こうした課題の解決のため、市立医療センターにおいて「救急ワークステーション」を、令和4年度から試行的に運用することになりました。日中の勤務時間に救急救命士と救急車をセットで医療センターに派遣し、病院実習を行

いながら、大きな事故等が発

生した場合に、救急要請内容に応じて、医師と実習中の救急隊が、医療センターから直接出動することで、病院実習時の救急救命士の不在を解消するだけでなく、医師が、事故現場に到着するまでの時間短縮が可能となり、より高度な病院前救護を早期に提供できるようにになります。市民の安全安心を第一に、あらゆる救急要請に対応する高度な救急体制の構築に取り組みます。



川口市救急車

## SKIPシティの 活用について

SKIPシティB街区については、NHK川口施設として、約3分の2の土地を利用した映像制作拠点の整備が計画されていますが、昨年末、NHKよりB街区の残地についても追加取得し、施設規模を拡大したいとの申し入れがありました。これにより、国内最大級のNHK映像施設がSKIPシティに誕生することとなり、前向きに協議を進めているところです。また、残るSKIPシティの未利用地についても、映像関連産業の誘致のほか、産業支援施設、商業施設の整備を行う方向で基本計画案が示されたところです。このように、SKIPシティ

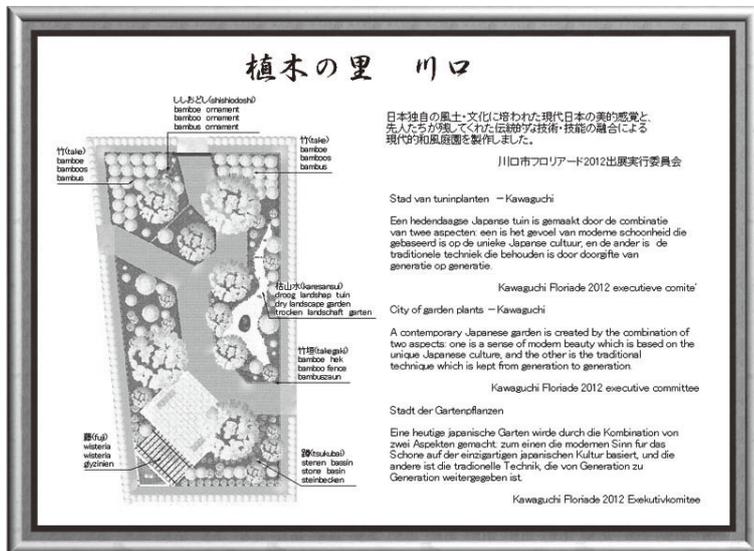
全体が整備され、有機的に機能することで、就労人口の増加や雇用の創出などが図られるほか、施設利用者、買い物・飲食での来訪者、周辺地域の方々の利用など、多様な人々が集い、賑わいが生まれることにより、地域の活性化が期待できるものです。

## 国際園芸博覧会への 出展について

10年に一度、オランダ王国で開催される世界最大の花の祭典「2022年 アルメール国際園芸博覧会・フロリアード2022」は、来たる4月14日から約半年間にわたりアルメーレ市で開催され、本市からは、日本国の一員として若手

農業者等で構成される「川口市フロリアード2022出展実行委員会」が参加します。昭和57年の初出展以来、5回連続での出展となりますが、これまでの各種コンテストでは、金賞をはじめ多くの賞を受賞し、本市の植木や造園技術が

世界の舞台で大いに評価されてきました。今回は、「里山の農家の庭」をテーマにした日本の屋外展示区域に、安行の植木を中心とした樹木類を使用し、親しみやすく懐かしい風情のある都市庭園を制作するものです。

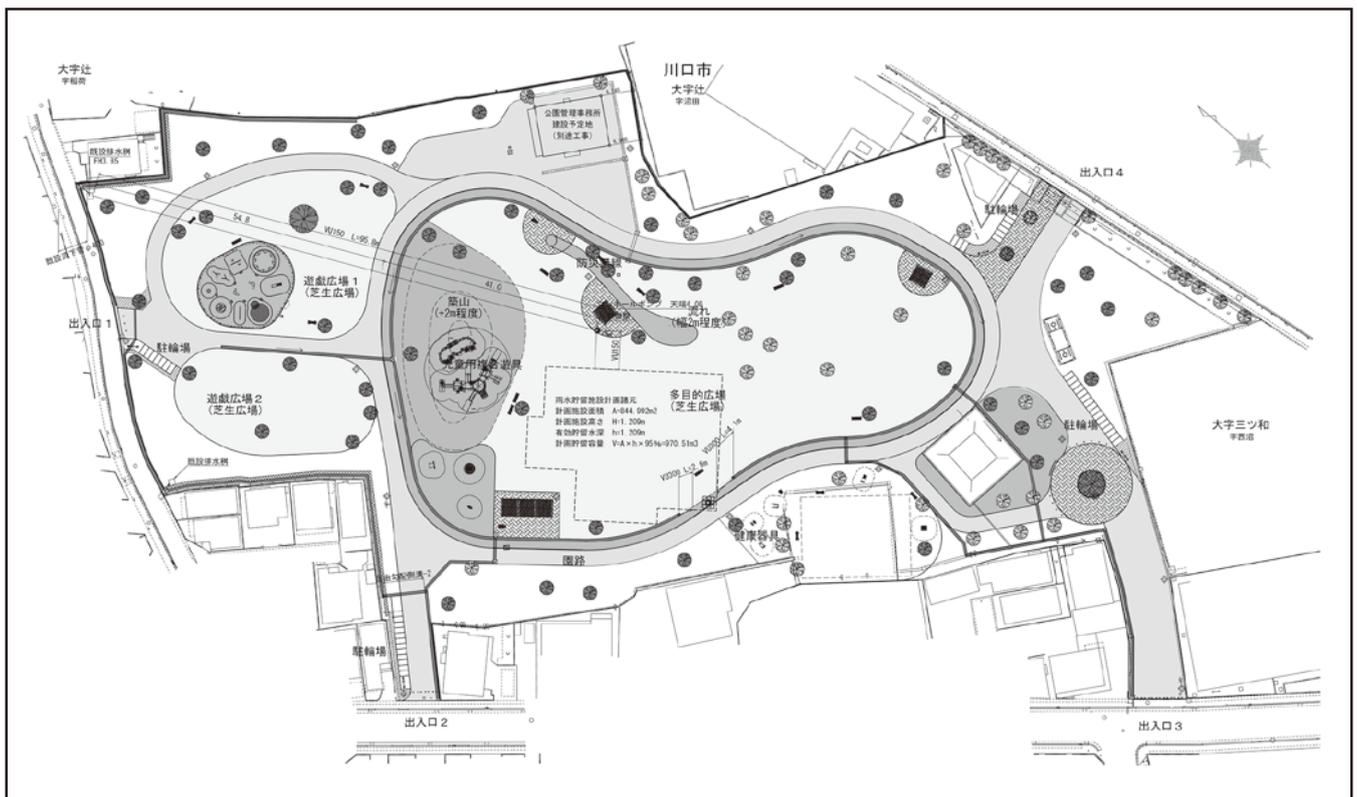


写真は2012年に開催した時の実行委員会メンバーと庭園設計図

## 沼田公園の整備について

旧鳩ヶ谷市民プール跡地である沼田公園は、隣接する第二沼田公園と一体的に防災機能を備えた公園として再整備を予定しているところです。この場所は地理的に本市の中心に位置しており、緊急輸送道路に指定されている国道122号に接しているなど、交通利便性の高い立地を活かし、周辺住民の一次避難場所となるよう、防災器具などを備蓄する「防災倉庫」や、「かまどベンチ」、断水時にも生活用水としての利用が可能な「耐震性貯水槽」など、いざという時に威力を発揮する様々な防災施設の設置を予定しています。また、通常時は、子どもたちがのびのびと遊べる大型の複合遊具や、ご高齢の方にご利用いただき、その健康維持につながる様々な健康器具、さらには、公園周囲の園路をウォーキングコースとして整備するなど、誰もが安全で快適に利用できる憩いの場として、令和5年度の開園を目指し整備を進めます。

※この内容は市長の市政方針を抜粋・加筆して作成しています。



沼田公園設計予測図 ※あくまでもイメージであり、公園のレイアウトは未定です。

編集発行

川口市議会議員

**宇田川 好秀**

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

市政情報  
発信



<http://gakkainavi.com/udagawa/report.html>

宇田川レポート更新中!!